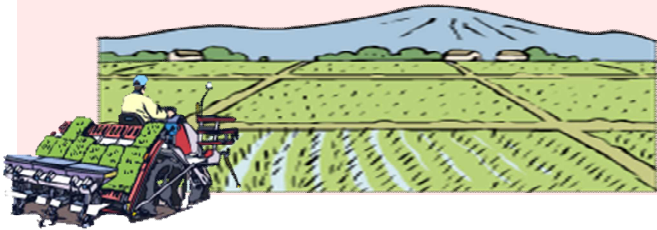


春先から初夏にかけて多発

つつが虫病は、約8割の方が5月～6月の春から初夏にかけて感染しています。山菜採りやハイキング、農作業に出かけた際に有毒なツツガムシに刺されることで感染しています。



つつが虫病の症状

1. かぜ様症状の出現
2. 体がだるくなり、食欲がなくなる
3. ひどい頭痛、寒気
4. 38～40℃の高熱
5. 発熱後3～4日後に、顔面、腹部などに赤い発疹がでる
6. 発熱後、6日頃から中央が黒く、回りが赤くなったかさぶたができる
(これは刺し口と呼ばれ、診断の決め手となる)



つつが虫病にご注意！！

つつが虫病の予防

1. 山菜採りや農作業、河川敷に出かける際は、長袖、長ズボンを着用し素肌を出さない
2. 休息する時は、地べたや草むらに直接座らない
3. 帰宅した後は、早めに着替える
4. 着替えた衣類は、室内に持ち込まず早めに洗濯をする
5. 帰宅後、早めに入浴し、念入りに身体を洗い流す



もしも刺されたら

つつが虫病は特効薬があるため、早期に発見し早期に治療することで、風邪よりも早く治ります。人から人へうつる心配もありません。
ツツガムシに刺されてから約7～10日頃に症状が現れます。症状がでた場合は、山菜採りや農作業をしたことを医師に伝え、早めに受診しましょう。治療が遅れると入院が必要となり、肺炎や脳炎のような症状が現れ死亡することもあります。

早期発見、早期治療を忘れずに！

